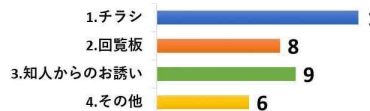


「防災グッズ説明会」で実施したアンケートに以下の回答がありました！

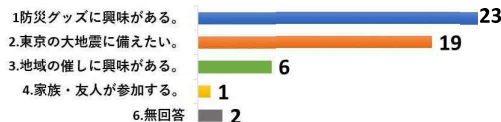
ご参加いただいた皆さまに、イベントに関するアンケートを実施いたしました。
以下の結果を参考に、今後もまちづくり活動を進めてまいります。

参加者30 アンケート回収数30 アンケート回収率 100%

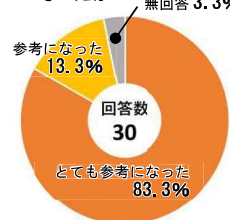
問1. イベントを知ったきっかけ



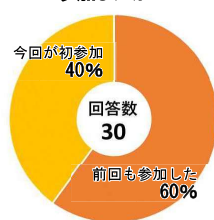
問2. イベントに参加した理由



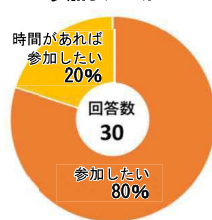
問3. 防災グッズ説明会は参考になったか



問4. 前回のイベントにも参加したか



問5. またイベントがあれば参加したいか



豊島区からのお知らせ

建替えを促進するために不燃化特区 助成制度のメニューが追加されました！

能登半島地震でお亡くなりになられた方々に対し、謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。

区では、地震被害軽減のため、右の通り、不燃化特区の助成を行っています。

また、令和5年4月より、「**戸建建替え促進助成(建築工事費助成)**」も新設されました。なお、**助成期間は令和7年度まで**となっています。

助成には事前の相談が必要です。詳しくは、下記にお問い合わせください。

豊島区 都市整備部 地域まちづくり課
03-3981-1464

〈助成制度〉の概要

- 老朽建築物の「解体・整地費用」を助成
- 戸建建替え促進助成
 1. 設計費助成
 2. 建築工事費助成 **(NEW!)**
- 固定資産税・都市計画税の減免
- 専門家(弁護士、税理士等)派遣
*それぞれに要件あり

なお、木造住宅の耐震診断・耐震改修の助成については、下記にお問い合わせください。

豊島区 都市整備部 建築課
03-3981-0590

●事務局●



TOSHIMA CITY

豊島区 都市整備部 地域まちづくり課 沿道推進グループ
TEL：03-3981-3449 FAX：03-3980-5135
Eメール：A0050025@city.toshima.lg.jp

株式会社 双葉
TEL：03-3953-3265 FAX：03-3953-5071

はじめに、能登半島地震でお亡くなりになられた方々に対し、謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。

1 令和5年度の 防災まちづくりの会の活動について

今年度のまちづくりの会では、前回の防災イベント「在宅避難研修」を振り返りながら、よりよい「近所付き合いを強めるためのきっかけとなる防災イベント」とするためにはどうすればよいかを検討し、イベント開催に向けて準備を進めました。

そして11月、昨年に引き続き講師に防災アドバイザーの高荷智也さんをお招きして、「防災グッズ説明会」を開催しました。

第16回防災まちづくりの会（令和5年6月）

昨年度の防災イベントについて、開催までの経緯・イベント内容・当日の会場アンケートを振り返り、今年度の防災イベントについて意見交換をした結果、感震ブレーカーをはじめとする防災グッズについての説明会を開催することになりました。

また、講師は昨年もお話いただき、アンケートでも非常に好評だった高荷智也氏（下記参照）をお願いしました。



第16回防災まちづくりの会の様子
（区民ひろは朝日）



講師 たかにともや
高荷智也（合同会社ソナエルワークス代表）

「備え・防災は日本のライフスタイル」をテーマに、講演・執筆・テレビなど多数のメディアで活躍する防災アドバイザー。防災グッズマニアとしても定評があり、TBS「マツコの知らない世界」に2度出演して、定番からマニアックまで様々な防災グッズを紹介した。YouTubeチャンネル「死なない防災！そなえるTV」は、登録者数11万人を超える。

第17回防災まちづくりの会（令和5年10月）

防災グッズの説明会を開催するための準備として、より多くの方にご参加いただくためのイベント周知方法の検討や委員の役割分担やイベント当日の流れ等を確認しました。

また、来年度スムーズに準備を進めるため、次回の防災イベントの企画についても話し合いました。



第17回防災まちづくりの会の様子
（区民ひろは朝日）

防災イベント「防災グッズ説明会」（令和5年11月19日）

詳細については次ページをご覧ください！

2 令和5年度の防災イベント「防災グッズ説明会」について

イベント名

地域から火を出さない地震対策

～感震ブレーカーや防災グッズを活用した家族と地域を守る事前対策のポイント～

令和5年11月19日曜日の14時～16時に朝日小学校
体育館で開催し、30名の方にお越しいただきました！



地震対策では、建物の耐震化や家具の固定を行うことで、揺れによる即死を回避することが重要ですが、もうひとつ重要な備えが「火災」を出さない・すぐに消し止める準備です。数ある防災グッズの中から、何を選び、どこで購入し、どのように役立てればよいのか？ 防災アドバイザーの高荷智也氏に実践的なポイントをお話いただきました。

停電したときに自動的にライトがつくなんて、すごく安心ですね！



停電時・自動点灯ライト



ライト付きUSBアダプタ
・普段はUSB充電器として利用
・停電時はライトが自動点灯
・引っっこ抜いて持ち出してもOK

夜間の大地震などで怖い「寝室」の停電
枕元に確保する明かりとして最適です



停電時・自動点灯ライト

スマホ1台と、デジカメ1台を接続
2台同時充電を行いましたか…
 $5.11V \times 1.31A = 6.7W$
十分に普通の充電として使えます
2時間で18%→85%

感震ブレーカーによる地震火災対策

「感震ブレーカー」とは？

地震の揺れを感知すると「自動的に」
自宅のブレーカーを落として電気を止める装置

家電・コード・壁内配線への
「電気」が止まるため、物理的に
火災が発生しなくなります

「感震ブレーカー」利用時の注意

地震発生が「夜中」だった場合
感震ブレーカーは「部屋の照明」も遮断します

安全行動を取ったり、素早い避難を行ったり、
などの行動が行えなくなるため
逆に危険な状態となる恐れがあります

感震ブレーカーの効果的な使い方を教えていただきました！

遅延遮断機能付きのものを使用する



揺れと同時にではなく
数分後に電気を
遮断するタイプの
機器を利用する

全ての家電・コードを保護できるため効果が高い

部屋全体ではなくコンセント単位で設置する



コンセントに設置する
感震ブレーカーを
使用することで
単体の家電を遮断

後付けが楽で簡単に設置することができる

感震ブレーカーの注意改善

自動点灯ライトと併用する



停電時に自動点灯
するライトを設置して
感震ブレーカーによる
照明喪失にそなえる

平時の停電や台風による停電に対しても有効

感震ブレーカーによる地震火災対策

分電盤タイプを使用するなら…



遅延遮断機能付き、かつ自動点灯ライトを併用



本日のテーマ

モーリアンヒートバック。
※停電・停ガスに備えた防災備蓄に最適！
火や電気を使わずに
食べ物を加熱する
ことができる道具
埼玉のメーカー 株式会社 協同が
2001年から製造販売を行っています

モーリアンヒートバック…という原理？

化学反応で蒸気を作って加熱
※水と発熱剤（酸化カルシウム＋アルミ粉末）の反応



モーリアンヒートバック…なにができる？

食品の温めができます
※98℃の蒸気に耐えられるものなら何でもOK
・バックご飯
・レトルト食品
・缶詰・缶飲料
・湯沸かし（耐熱容器）
・ラップに包んだもの
・ゆで卵・煮し野菜

使い方を実演！ バックに入れたペットボトルが約20分で本当に熱々になりました！